

# 都議会最終日 和泉なおみ都議が最終討論



第41回 赤旗まつり

11月1日～3日夢の島公園で「赤旗まつり」が行われました。



「赤旗まつり」会場にて

東京都議会は、9月17日から10月3日まで17日間の会期で第3回定例会が開催されました。10月3日の最終本会議で、和泉

なおみ都議が討論に立ちました。これは、この議会で審議された知事提出議案や追加議案を採決する前に各党がおこなうものです。

## セクハラ防止、公費での飲食の禁止

和泉なおみ都議は、討論の冒頭、発防止をすすめ、男女平等の社会  
都議会改革について各党派に二つ を実現する先頭に立とうというも  
のこを、よびかけました。 のです。

一つは、女性蔑視発言の事実を 二つ目は、費用弁償の原則廃止  
解明し、都議会規則に人権侵害の や政務活動費を飲食に使うことの  
発言を禁止することを明記し、懲 禁止など、都民目線で議会のあり  
罰動議提出の期限を延ばすなど再 方を決める検討会の設置です。

## ぜんそく医療助成の存続

ぜんそく医療助成条例の改悪に対し「患者救  
済の道を広げることこそ都の責任」と指摘し、  
国や自動車メーカーに責任を果たすよう求める  
とともに、現行制度を存続するよう求めました。

## 木造住宅耐震助成を

日本共産党が提案した「木造住宅耐震改修促  
進補助条例」が実現して、住宅の耐震化率を一  
〇〇%にすれば、全壊棟数と死者数を九割も減  
らせることを指摘し、各議員への賛同  
を訴えました。

## オスプレイを 排除せよ

横田基地などに飛来を繰り返しているオスプレイに、近隣の五市  
一町が国に抗議の声を上げている あり、都がものをいう立場にない」  
の「安全保障は国の専管事項で」と、厳しく批判しました。 という都の態度は、都民の安全を  
守るべき自治体として許されな

## 和泉なおみ都議の談話

「消費税増税は適正に国が判断するもの」、「集団的自衛権は我が国  
にとつて賢明な選択」など、知事の基本認識には見過ごせない課題  
も多く残されていますが、福祉インフラ整備のための都用地活用が  
進み、認可保育園増設のための補助拡充の補正予算が組まれるなど、  
我が党が粘り強く取り組んできたことが実り始めています。これか  
ら議会は、事務事業質疑、第四回定例会へと続きます。来年度予算  
の各局概算要求が出され、検討も始まります。さらにくらし・福祉  
中心の都政への転換のために、都議団十七人一丸となって全力が  
んばります。

## 保育園の待機児 特養老人ホーム

今定例会の直前に発表された「長  
期ビジョン（中間報告）」で保育園の  
待機児解消や特別養護老人ホームの  
増設を打ち出したことを評価し、さ  
らに地域包括ケアシステムの構築に  
向けた「具体的な取り組み」を計画  
に盛り込むこと、特養ホームについ  
て「あらためて整備目標を策定」す  
るとしたこと、「雇用対策についても  
「目指すべきは、正規雇用など希望に  
応じた働き方」であり「必要な対策  
を長期ビジョンに反映する」と述べ  
たことなどを、今後に生きる答弁と  
評価しました。

日本共産党都議会議員

和泉なおみの  
さわやかレポート

NO.8  
2014.11.

発行：和泉なおみ事務所 葛飾区東立石  
3-25-8 TEL5671-0850 FAX5671-0851

水元公園入口交差点の改善

# 少し安全になります

## 和泉なおみ都議、中江秀夫区議、 地元のみなさんの奮闘実る



第5建設事務所で話し合う和泉なおみ都議

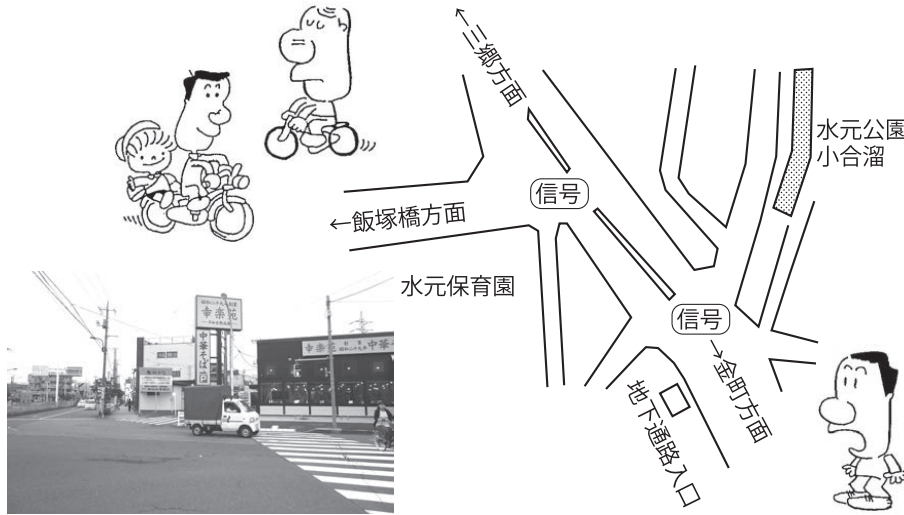
水元公園入口付近は、合計八差路にもなる区内でも他に類のない複雑な交差点です。住民の皆さんから、「とても危ない、何とかして」と言う声がだされてきました。

そこへ、今年四月には、水元保育園が開設され、その声はますます大きくなっていきます。

和泉なおみ都議と中江秀夫区議は、地域のみなさんと一緒に、昨年来、東京都に改善を申し入れていました。

九月三〇日、東京都第五建設事務所から、次のような回答をいただきました。

①水元保育園の前の横断歩道の一部をはり出し、金町方面からの左折車のスピードを抑制する。



水元公園前の交差点

- ②車道面と歩道面をすり合わせ段差を無くし、縁石・ガードレールなどで安全対策をはかる
- ③実施は来年3月までに行う予定
- ④その他、道路面の痛みによる振動などの対策も、順次実施する。



中江秀夫区議の談話

和泉なおみ都議の奮闘もあり、地域の懸案事項だった安全対策が一定の前進を見たのはうれいことです。

一方、岩槻街道など狭い歩道の解決や信号機の問題など、まだまだ解決すべき問題が残されています。

私は、地元のみなさんと、この前日の九月二十九日亀有警察を訪れ、交通課へ信号機などの安全対策について要望してきました。

### 女性が社会で頑張れる環境を

和泉なおみ

子宮筋症の手術のために十日間ほど入院しました。

議会と入院準備は同時進行。入院日も委員会のために、外出許可をとって登庁、翌日には手術、とバタバタの入院劇でしたが、経過は良好です。

入院中、お世話になった看護師さんの中に、約二〇年保険会社で働いた後に、看護師になった方がいました。お父さんの病気を治してもらった

た恩返しをしよう、と、看護師になる決意をしたというのです。

「親子子ども年の違う若者たちと一緒に学校に通ったのよ」とすがすがしく笑う顔が素敵で、頑張り屋さんです。

社会の役に立ちたい、がんばりたいと願う、すべての女性が、社会の中で頑張ることができる環境をつくる。これは政治の責任です。